



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	新学習指導要領に基づく教育課程2年目となり、一層の充実を図る必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 現在、本市の児童の学力は県内においても上位にある。本事業の効果である。小学校新学習指導要領実施1年目、平成24年度は中学校進学指導要領の実施である。一層の充実が必要である。
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	今までの成果を生かし、児童にきめの細かい指導を実施するため市費職員の配置を充実し、指導内容を明確にしてい。また、小学校新学習指導要領の完全実施による教育課程の編成上、23年度準備できなかった消耗品・副読本・教材備品の新たな購入が必要であり、緊急に整備していかねばならない。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	新学習指導要領に基づく教育課程となり、年間指導計画に基づいた教育活動の一層の充実を図る必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	新学習指導要領1年目に当たる今年度、新しい学習内容に対応した実施が必要である。現在、本市の中学校は落ち着いた状況にある。これは、市費採用教職員(学力向上支援教員等)の活用が効果的に推進されていることも含まれる。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	今までの成果を生かし、生徒にきめの細かい指導を実施するため市費職員の配置を充実し、指導内容を明確にしてい。また、中学校新学習指導要領の完全実施1年目による教育課程の編成上、消耗品・副読本・教材備品の新たな購入が必要になり、緊急に整備していかなばならない。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	効果的な人材配置、研修の充実、指導法の改善等を検討していく。平成23年度は直接雇用2名、派遣契約4名であったが、平成24年度はプロポーザル実施により、派遣業者を変更し、6名全員を派遣契約による配置とした。派遣法の規程により長期間の配置ができないため、雇用方法(直接・派遣)も含め検討が必要である。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 派遣契約によるALTの配置は、年間を通しての学習指導実施に課題が見られる。(連続した長期間の配置ができない)雇用方法の検討が必要である。
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	派遣契約を進め3年が経過している。派遣業務は、連続した配置ができないという、教育活動実施上の課題が見られる。今後、人材面、コスト面両方について視野に入れ、雇用形態を検討していく。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	情報教育推進委員会・各学校等において研修会を開催し、教職員のスキルは確実に向上している。しかし、日々進化する高度情報社会に対応するためには、継続していく必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 今日の教育活動において、情報機器の活用は不可欠であるとともに、児童にとって今後社会で生活するために身につけておく必要がある。また、教師の指導技術の向上、職務の多忙化の解消においても必要不可欠である。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	文部科学省が基本として示している情報機器の設置がまだ十分に満たされていない。児童が日常の中で、学習活動に十分活用できる情報教育環境の設定を目指していく。





### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	情報教育推進委員会・各学校等において研修会を開催し、教職員のスキルは確実に向上している。しかし、日々進化する高度情報社会に対応するためには、継続していく必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 今日の教育活動において、情報機器の活用は不可欠であるとともに、生徒にとって今後社会で生活するために身につけておく必要がある。また、教師の指導技術の向上、職務の多忙化の解消においても必要不可欠である。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	文部科学省が基本として示している情報機器の設置がまだ十分に満たされていない。生徒が日常の中で、学習活動に十分活用できる情報教育環境の設定を目指していく。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後は、達成率とともに、蔵書内容の充実を図っていく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	学校図書館の図書は、児童の人間性の育成、学習習慣・学習に対する興味・関心の育成に重要である。今後も、充実を図る必要がある。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	蔵書率の達成が図れているが、本の傷みによる廃棄等がある。今後も充実した図書の整備を図っていく。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後は、蔵書率を上げるとともに、蔵書内容に充実を図っていく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 学校図書館の図書は、生徒の人間性の育成、学習習慣・学習に対する興味・関心の育成に重要である。今後も、充実を図る必要がある。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	蔵書率について、学校間格差が見られる。学校間格差をなくすよう実施していく。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	B
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	教職員健康診断のあり方については、改善の余地がある。特に、35歳未満の対象者に対しては、医師会や朝霞地区での協議が必要である。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	児童・生徒の適正な教育活動を推進するためには、教職員の健康管理は不可欠である。現在、教職員健康診断の受診対象は35歳以上で実施しているが、今後教職員全員を対象に実施していく。契約委託先も検討していく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	教職員の健康診断の委託先についての検討が必要である。また、教職員の多忙化が進んでいる今日、教職員の健康保持が重要になっている。安全衛生管理委員会の立ち上げと、各校における衛生推進者の活動内容の明確化、及び学校医による健康相談を充実させていく。



# 事務事業評価表

事務事業名	児童衛生管理	計画コード	1409
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	法定受託事務	根拠法令等	学校教育法 学校保健安全法 施行令 施行規則
対象	和光市立小学校児童		
意図・目的	児童の健康の維持・増進を図る。		
活動概要	和光市立小学校児童健康診断を実施する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	定期健康診断受診者数	人	4,298.0	4,295.0	4,194.0	4,171.0	4,300.0	97.5				
		追加指標	定期健康診断受診児童歯科治療率	%	75.5	72.9	81.1	82.0	80.0	101.4				
	事業費	費用	予算額	千円	19,057	18,085	18,085	17,343	備考					
			決算額	千円	19,057	17,037	16,396	-						
財源内訳		(一般財源)	千円	19,057	17,037	16,396	17,343							
		(特定財源)	千円	0	0	0	0							
人件費		職員数(正規/非常勤)	人	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0					
	職員分	千円	2440	2440	2440	2,440								
	非常勤分	千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)	千円	21,497	19,477	18,836	19,783								
定性的評価	活動の成果	児童健康診断の実施結果を保護者に連絡し、治療・生活方法の改善等、指導助言を実施した結果、治療率の向上につながっている。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	治癒率の更なる向上に向けた手立てが必要である。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 児童の健やかな発育にとって、健康診断は不可欠である。家庭への啓発により治癒率を上げる。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	現在、各事業とも順調に実施されている。現状維持とともに、より機能的に運営できる方法について広く情報を収集し研究実施していく。

# 事務事業評価表

事務事業名	生徒衛生管理				計画コード	1410	
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課				担当名	指導担当	
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]						
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育						
施策	14	確かな学力の育成をめざした教育の推進					
取組内容番号							

## 1. 事業の概要

事務区分	法定受託事務	根拠法令等	学校教育法 学校保健安全法 施行令 施行規則				
対象	和光市立中学校生徒						
意図・目的	生徒の健康の維持・増進を図る。						
活動概要	和光市立中学校生徒健康診断を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	定期健康診断受診者数	人	1,536.0	1,651.0	1,666.0	1,725.0	1,700.0	98.0					
			定期健康診断受診生徒歯科治療率	%	70.3	69.6	78.5	80.0	80.0	98.1					
			追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	7,054	7,239	7,447	7,402	備考					
			決算額		千円	7,054	6,492	6,588	-						
			財源内訳	(一般財源)		千円	7,054	6,492	6,588	7,402					
				(特定財源)		千円	0	0	0	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0				
			職員分		千円	2440	2440	2440	2,440						
非常勤分			千円	0	0	0	0								
総事業費(事業費+人件費)		千円	9,494	8,932	9,028	9,842									
定性的評価	活動の成果	生徒健康診断の実施結果を保護者に連絡し、治療・生活方法の改善等、指導助言を実施した結果、治療率の向上につながっている。													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	治癒率の更なる向上に向けた手立てが必要である。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 生徒の健やかな発育にとって、健康診断は不可欠である。家庭への啓発により治癒率を上げる。
--------	--

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	現在各事業とも順調に実施されている。現状維持とともに、より機能的に運営できる方法について広く情報を収集し研究実施していく。

# 事務事業評価表

事務事業名	教育扶助(小学校)	計画コード	1411
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	学務担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	教育基本法、学校教育法、生活保護法、学校給食法等
対象	要保護及び準要保護基準該当世帯児童		
意図・目的	教育の機会の均等を図る。		
活動概要	<p>該当児童の学校教育における教育費(学用品費・学校給食費・校外活動費・医療費等)の援助を行う。 また、経済的に就学困難な児童の保護者からの申請に基づき、主に所得等により審査し認定する。認定者には毎学期ごとに学用品費、学校給食費、校外活動費などを援助する。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 要保護及び準要保護認定児童の保護者 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度(%)	備考
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	学用品費・給食費の補助件数	件	235.0	238.0	231.0	245.0	245.0	94.3				
		追加指標	対象率(被援助者/児童生徒数)	%	6.0	6.0	5.5	5.5	6.0	91.7				
	事業費	予算額		千円	19,035	17,661	16,995	17,446	備考					
		決算額		千円	15,619	15,111	14,564	-						
財源内訳		(一般財源)	千円	15,345	14,834	14,166	17,295							
		(特定財源)	千円	274	277	398	151							
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0				
		職員分		千円	4,880	4,880	4,880	4,880						
	非常勤分		千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)			千円	20,499	19,991	19,444	22,326							
定性的評価	活動の成果	<p>就学援助認定者(要保護及び準要保護児童生徒)に学用品費、学校給食費、校外活動費、医療費、林間学校費、修学旅行費を援助することにより、児童生徒が学用品等に困ることなく就学することができる。</p>												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 児童全員に、適切な教育を受けさせるために保護者への更なる周知をしていく。
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	すべての児童が適切な教育を受けられるよう事業を継続していく。社会の状況に応じ認定基準・補助金額の検討をしていく。

# 事務事業評価表

事務事業名	教育扶助(中学校)	計画コード	1412
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	学務担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	教育基本法、学校教育法、生活保護法、学校給食法等
対象	要保護及び準要保護基準該当世帯生徒		
意図・目的	教育の機会の均等を図る。		
活動概要	<p>該当生徒の学校教育における教育費(学用品費・学校給食費・校外活動費・医療費等)の援助を行う。 また、経済的に就学困難な生徒の保護者からの申請に基づき、主に所得等により審査し認定する。認定者には毎学期ごとに学用品費、学校給食費、校外活動費などを援助する。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 要保護及び準要保護認定児童生徒の保護者 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度(%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	学用品費・給食費の補助件数	件	138.0	159.0	180.0	200.0	165.0	109.1				
		追加指標	対象率(被援助者/児童生徒数)	%	9.0	10.0	10.8	11.6	10.0	108.0				
	費用	事業費	予算額	千円	16,420	17,289	19,165	23,536	備考					
			決算額	千円	14,522	16,754	18,288	-						
財源内訳			(一般財源)	千円	14,247	16,407	18,039	23,372						
			(特定財源)	千円	275	347	249	164						
人件費		職員数(正規/非常勤)	人	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0					
	職員分	千円	4,880	4,880	4,880	4,880								
	非常勤分	千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)	千円	19,402	21,634	23,168	28,416								
定性的評価	活動の成果	<p>就学援助認定者(要保護及び準要保護児童生徒)に学用品費、学校給食費、校外活動費、医療費、林間学校費、修学旅行費を援助することにより、児童生徒が学用品等に困ることなく就学することができる。</p>												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 生徒全員に、適切な教育を受けさせるために保護者への更なる周知をしていく。
--------	---

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	すべての生徒が適切な教育を受けられるように事業を継続していく。社会の状況に応じ認定基準・補助金額の検討をしていく。



# 事務事業評価表

事務事業名	教職員研究・研修	計画コード	1413
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	地教行法、教育公務員特例法
対象	和光市立小・中学校 教職員		
意図・目的	教職員の指導の資質の向上を図る。		
活動概要	教職員の指導力向上のための学校訪問、研修会への講師派遣、教育活動充実に向けての展覧会実施。研究成果を教育活動へ生かすための研究紀要作成、職員研修充実のための研究費支援、市教育研究会の研修充実に向けた補助金活用、学校経営の適正化による教育の向上と教職員の資質向上のための校長会補助金活用を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値					
活動実績	当初設定指標												
	教員研修会参加人数	人	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	90.0	66.7				
	校内研修参加人数	人	299.0	308.0	300.0	300.0	300.0	328.0	91.5				
	外部指導者派遣回数	回	33.0	33.0	11.0	11.0	11.0	33.0	33.3				
	追加指標												
定量的評価	事業費	予算額	千円	1,204	1,141	864	864	備考					
		決算額	千円	1,204	856	796	-						
	財源内訳	(一般財源)	千円	1,204	856	796	864						
		(特定財源)	千円	0	0	0	0						
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1		
		職員分	千円	0	0	0	0						
		非常勤分	千円	100	100	100	100						
	総事業費(事業費+人件費)	千円	1,304	956	896	964							
定性的評価	活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校での研修の際、専門的な分野での指導者を招聘することにより、専門的な資質能力の向上を図る。</li> <li>・市教委主催の各種委員会(社会科資料作成委員会・体力向上推進委員会等)において、主題を設定し研修会を実施している。</li> <li>・各校や委員会では、年度末に研究紀要等を作成し、研究の成果をまとめている。</li> </ul>											

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	教員の資質の向上のため、研修内容の向上を図っていく。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	今日の教育課題を解決していくために、教職員の資質の向上のための研修・修養は不可欠であり、そのために機会の増加、研修内容の充実を図る。また、予算についても適正な増加を望んでいる。		

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	各校の教育委員会委嘱研修用の学校配分費用が、消耗品費・印刷費・謝礼と分かれているため、有効な活用が難しい。研究委嘱補助金として全費用を一括し、各学校の研究計画に応じ、予算が効果的に活用されるよう検討する。		

# 事務事業評価表

事務事業名	教科書採択替えによる教師用教科書・指導書整備	計画コード	1414
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	学校教育法 学校保健安全法 施行令 施行規則
対象	和光市小中学校教職員		
意図・目的	新学習指導要領に基づく教科書を使用した授業での指導の充実を図る。		
活動概要	平成24年度、平成25年度に中学校教科書採択替えによる教師用教科書、指導書を整備する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標					24,120.0	6,705.0						
			小学校教師用教科書・指導書											
			中学校教師用教科書・指導書						9,920.0					
	追加指標													
事業費	予算額		千円	0	0	24,120	16,625	備考						
	決算額		千円	0	0	23,978	-							
	財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	23,978	16,625							
		(特定財源)	千円	0	0	0	0							
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		職員分		千円	0	0	0	0						
		非常勤分		千円	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	0	0	23,978	16,625								
定性的評価	活動の成果	教師用教科書並びに指導書の整備ができた。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	新学習指導要領の実施に伴って、教科書採択及び全面改訂されたため、平成23年に小学校、平成24年に中学校に改訂される。必要最低限の購入である。不足分を次年度に購入する必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	教科書の改訂に伴う必要な購入である。また、今後の児童生徒数の増減を的確に把握し、購入計画を立てていく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	定期的実施される教科書の改訂にあわせ、計画的に予算を立てていく。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	相談依頼件数はやや減少しているものの、学校での学習や生活における支援方法の提示・医療機関など他機関との連携の充実が求められる難しいケースが増えてきている。今後も専門的な知識を持つ相談員の配置により、本事業を継続して行う。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	価値観の多様化、生活様式の多様化、社会の中での家庭の孤立化等、社会の複雑化から特別な支援の必要な児童生徒、相談が必要な保護者等が、増えてきている。また、関係機関と連携が必要となる複雑なケースがふえてきている。今後も専門的な相談機関を設置する本事業を進めていく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	いじめ・不登校の問題や特別な配慮を要する児童生徒への支援、複雑化する保護者の相談に応じるために、臨床心理士が常駐する専門的な相談機関として、和光市教育支援センターが中核的な役割を果たしていく必要がある。教育相談員の各校への効果的な配置や和光市教育支援センター職員の人数・構成等を検討しながら、今後も本事業を継続して進めていく。

# 事務事業評価表

事務事業名	幼保小連携推進	計画コード	1602
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	16	よりよく適応するための支援体制づくりの推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	和光市立各小学校児童と和光市各保育所・幼稚園園児ならびに教職員と保護者		
意図・目的	幼稚園、保育園、小学校が互いに連携し、幼児教育と小学校教育を円滑に接続させ、子どもたちが心身ともに健やかな成長を図る。		
活動概要	幼稚園園児保育所園児及び小学校児童の交流と教職員間の交流を行う。また、保育課程・教育課程の編成、指導方法についての交流等を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		交流会参加者数	人	30.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	100.0				
		教職員間交流参加者数	人	50.0	130.0	130.0	130.0	130.0	130.0	100.0				
		交流会実施回数	回	3.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0				
		追加指標												
	事業費	予算額	千円	0	0	50	50	備考						
		決算額	千円	0	0	35	-							
		財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	35	50						
			(特定財源)	千円	0	0	0	0						
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1		
職員分			千円	0	0	0	0							
非常勤分			千円	100	100	100	100							
	総事業費(事業費+人件費)	千円	100	100	135	150								
定性的評価	活動の成果	幼稚園園児保育所園児及び小学校児童の交流と教職員間の交流により保育課程・教育課程の編成、指導方法についての交流等を行い、市内全幼・保・小間の連携が進んだ。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	C	C
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	保護者や地域を巻き込んだ活動につなげていく。必要に応じて地域やNPO等の協力も得るなど活動を広げていく必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	小1プロブレムの解消を含め、新入学児童が順調に学校生活をスタートするため、必要な活動である。保育士と小学校教諭の連携、発達の段階に応じた指導等をを計画的に進めていく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	保護者や地域を巻き込んだ活動につなげていくために、市民への啓発活動について具体的に検討していく。





### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	安全安心で新鮮な地元産農産物を学校給食に取り入れることは食育上、有意義な事業であるが、年々都市化により農地が減少していく中での使用率のアップは厳しいものがある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	児童の健全な発育のため、学校給食の役割は大きい。地元農産物の使用は今後も可能な範囲で進めていく。また、季節に応じた食材の使用、日本の各種季節行事に合わせた献立等工夫していく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	和光市学校給食委託先として設立された財団法人和光市学校給食協会との連携を深め、他市の委託事業にかかわる情報を収集するとともに、より効果的な事業の実施に努めていく。また児童生徒の好ましい食習慣の育成のため、学校教育活動を通じ計画的に指導していく。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	B	B
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	調理器具や消毒器機は安全安心な学校給食の提供には必要不可欠であるための整備を怠らず、老朽化による更新は計画的に行うべきである。しかし市の財政事情により更新計画が予定通りにいかない。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	各校の児童・生徒数等、学校規模に応じた、施設設備の更新を計画的に実施していく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	給食調理員の事故防止、安全安心な給食の提供、作業の効率化等、調理器具・消毒機器等の保全是不可欠である。その必要性を十分に協議し、計画的な更新を実施する。



### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	施設を清潔に保つことは、安全安心で衛生的な学校給食を提供するために必要不可欠である。事故を未然に防ぐために今後も事業を継続していく必要がある。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	各種、衛生基準に応じた対応を実施している。今後も継続していく。		

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	各施設設備の保全、衛生的な作業の実施、及び給食の提供を実施するため、給食室及び関係施設の管理を徹底する。		